

「命の授業」について

保健医療課健康推進係 ☎0824・73・1255

文：西城中学校 養護教諭 井上京子



庄原市の母子保健事業として、庄原赤十字病院の協力のもと、助産師・看護師・保健師を講師に招き、市内の中学生を対象とした思春期講座を行っています。

西城中学校では、3年生の生徒たちが、これから大人に向かっていく今、命や性について正しい知識や考えを持ち、今後どう向き合っていけば良いかを学習しました。

1回目は、DVD視聴や、妊婦ジャケットの着用、新生児の「抱っこ体験」を通し、妊娠や妊婦・新生児についての理解を深め、妊婦が生活で大変な事や嬉しい事などについて、妊婦の生の声を聞きました。また、不妊・流産・中絶・避妊についての知識や実際の道具も目にし、性についての正しい理解を深めました。



2回目は、男女実際の仕方やデートDVについて、事例を基に班で話し合い、相手の人格を尊重することを学んだ後、妊娠や出産に関わる経費や事務手続きなどについても教わりました。生徒は、「70兆通りの中から、唯一選ばれ生まれてきた一人が、自分という奇跡に感謝しています」「デートDVとは何だろうと、ずっと思っていました。が、事例検討などをしたことで、しっかりと理解することができました」などの感想を持っていました。これからどんな大人に育っていくのか、楽しみです。

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824・72・0110

あなたを守る！防犯の手引きを紹介します

●犯罪（刑法犯）の発生状況



広島県内の犯罪（刑法犯）の発生状況は、平成27年11月末では1万7333件、平成28年11月末では1万5690件で、1643件減少しています。そのうち庄原市内では、平成27年11月末では94件、平成28年11月末では90件で、4件減少しています。

●窃盗犯の被害防止

庄原市内で発生した犯罪（刑法犯）で最も多いのが「窃盗犯」で、全体の約半数を占めています。「窃盗犯」には、民家や店などに侵入してお金などを盗む手口のものがあり、その被害者の4割が家などに鍵をかけていませんでした。

【手引き】

▼留守にするときには確実に鍵をかけましょう。

●特殊詐欺の被害防止

広島県警察では、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の年間被害総額10億円以下を目標とする「なくそう特殊詐欺被害・アンダー10作戦」により、被害を1件でも1円で減らす取り組みを推進中ですが、

広島県内の認知状況は11月末現在で約9億5200万円に達しています。

【手引き】

▼「現金送れ」はすべて詐欺です。

※正規の業者で、宅配便などで現金を送付するような指示をすることは絶対ありません。

▼即断より相談しましょう。

※一人で判断せず、家族や知人、警察など、必ず誰かに相談しましょう。

●悪質商法の被害防止

悪質商法には、①「無料で点検します」と言って訪問し、「シロアリがいる」などと言って不安をあおり、必要のない工事などの契約を迫る「点検商法」や②電話で頼んでもいない商品の購入申し込みをしたと勘違いさせ、代金引換などで商品を送り付けて代金を支払わせる「送り付け商法」などがあります。

【手引き】

▼知らないときは、きっぱり「いりません」と断りましょう。

▼業者を簡単に家の中に入れられないようにしましょう。

▼個人情報情報を明かさなないようにしましょう。

▼その場ですぐに契約せず、誰かに相談しましょう。